農山漁村地域整備計画における事後評価

【整備計画の概要】

計画の名称	かごしまの地域水産基盤づくり(本土)計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	垂水市, 南さつま市, 南大隅町, 指宿市, いちき串木野市, 長島町
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)

【整備計画の目標の実現状況等】

1 交付対象事業の進捗状況

整備計画に位置づけた17地区を実施した結果、平成26年度までに6地区の事業が完了した。

2 事業効果の発現状況

(1)水域環境保全創造事業	垂水地区, 指宿地区において, 着定基質の整備により藻場の生息環境が創出され, 水産資源の増産が図られた。
(2)地域水産物供給基盤整備事業	間泊地区において, 港内静穏度が確保された物揚場での陸揚げや漁船の係留が可能となったことにより, 漁業活動の効率化と安全性向上が図られた。 さらに, 用地が整備されたことで, 漁業活動の効率化が図られた。
(3)海岸保全施設整備事業	久志地区において, 消波堤の整備により高潮等に対する防災機能が確保された背後集落の防護面積が増加した。
(4)漁業集落環境整備事業	三船地区, 坊泊地区(効果促進)において, 漁業集落排水施設や集落道が整備されたことにより, 漁業背後集落の生活環境が向上し, さらに水域の水質保全が図られた。

3 成果目標の目標値の実現状況

工種	単位	目標値	実績値	
(1)藻場の復元及び創造	ha	1.65	1.65	藻場の生息面積を1.65ha造成し、まだい等の増産を確保
(2)安全で使いやすい漁港づくりの推進	ha	8.2	8.2	漁港施設の整備により、陸域及び水域8.2haを拡大し、安全で使いやすい区域を確保
(3)自然環境にも配慮した県土保全	ha	0.9	0.9	海岸保全施設の整備により、防護面積0.9haを拡大し、高潮等の被害から家屋を保全
(4)防災力の強化と生活環境の改善	ha	31.3	31.3	漁業集落排水施設等の整備により、生活環境の改善された区域31.3haを確保
(5)漁業活動の効率化及び就労環境の改善	m	590	0	漁港関連道L=134m(暫定)の整備を促進

4 今後の方針

本計画期間内において未完了の地区については、2期計画(H27～H31)において、引き続き事業を実施し、事業効果の早期発現に努める。

農山漁村地域整備計画における事後評価

【整備計画の概要】

計画の名称	かごしまの地域水産基盤づくり(離島)計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	薩摩川内市, 屋久島町
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)

【整備計画の目標の実現状況等】

1 交付対象事業の進捗状況

整備計画に位置づけた5地区(関連事業3地区を含む)を実施した結果, 平成26年度までに5地区の事業が完了した。

2 事業効果の発現状況

(1)地域水産物供給基盤整備事業	栗生地区において, 防波堤の整備により港内静穏度が向上したことにより, 荒天時の漁船の船体損傷被害や他港避難の解消が図られた。
(2)漁業集落環境整備事業	手打地区(効果促進含む)において, 漁業集落排水施設が整備されたことにより, 漁業背後集落の生活環境が向上し, さらに水域の水質保全が図られた。

3 成果目標の目標値の実現状況

工種	単位	目標値	実績値	
(1)安全で使いやすい漁港づくりの推進	ha	0.4	0.4	漁港施設の整備により, 水域0.4haを拡大し, 安全で使いやすい区域を確保
(2)防災力の強化と生活環境の改善	ha	50.9	50.9	漁業集落排水施設等の整備により, 生活環境の改善された区域50.9haを確保

4 今後の方針

本計画期間内において未完了の地区については, 2期計画(H27～H31)において, 引き続き事業を実施し, 事業効果の早期発現に努める。

農山漁村地域整備計画における事後評価

【整備計画の概要】

計画の名称	かごしまの地域水産基盤づくり(奄美)計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	奄美市, 大和村, 天城町, 知名町
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)

【整備計画の目標の実現状況等】

1 交付対象事業の進捗状況

整備計画に位置づけた6地区を実施した結果, 平成26年度までに4地区の事業が完了した。

2 事業効果の発現状況

(1)漁村再生交付金事業	今里, 松原, 和瀬地区において, 防波堤等の整備により港内静穏度が向上することで, 漁業活動の効率化と安全性向上が図られた。 さらに, 荒天時の漁船の船体損傷被害や他港避難の解消が図られた。
(2)海岸保全施設整備事業	知名地区において, 既設護岸の改良により高潮等に対する防災機能が確保された背後集落の防護面積が増加した。

3 成果目標の目標値の実現状況

工種	単位	目標値	実績値	
(1)自然環境にも配慮した県土保全	ha	0.3	0.3	海岸保全施設の整備により, 防護面積0.3haを拡大し, 高潮等の被害から家屋を保全
(2)安全で使いやすい漁港づくりの推進	ha	1.6	1.6	漁港施設の整備により, 陸域及び水域1.6haを拡大し, 安全で使いやすい区域を確保

4 今後の方針

本計画期間内において未完了の地区については, 2期計画(H27～H31)において, 引き続き事業を実施し, 事業効果の早期発現に努める。